

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	経済学史 (History of Political Economy)		
ナンバリングコード	E20407	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 経済学
単位数	4	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E014801	クラス名	-
担当教員名	古川 順一		
履修上の注意、履修条件	西洋経済史と合わせて、西洋の近・現代史を学びます。ノートを作成提出すること。出席3分の2以上と、課題や中間・期末レポートの提出をしてください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	『新版 経済思想史』(名古屋大学出版会) 大田・鈴木・高・八木編 『イギリス哲学・思想史事典』(研究社) 日本イギリス哲学学会編(電子版あり) その他その都度講義で指示する。		
関連科目	西洋経済史		

○基本情報							
授業の目的	経済学の歴史を通じて、経済学とはどんな学問なのかを考えます。果たして、経済学の目指す理想は、人間を幸せにするでしょうか。西洋経済史と合わせ、人間として一番大切なものは何かを、考えていきます。そして、人間として一番大切なものを大切にすることを求めています。これを通して、自分自身が人間として一番大切なもののために生きる人間となることを共に目指したいと思います。どの地域でどのような仕事をする際にも必要な、普遍的視点を身に付けてもらうことを目標としています。						
授業の概要	人間として一番大切にすべきことからはずれていったイギリスの経済学の歴史をたどります。古典派のスミス、リカードウ、マルサスから、新古典派のマーシャル、さらにケインズまで見ていきます。このイギリスの歴史から、生きていく上で、また働く上で、人間として一番大切にすべきことを知ることがいかに大切かを学びたいと思います。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「該当なし」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①人間として一番大切なものを学び続ける姿勢を身に着ける。②①を通じて、社会人としての真の責任感や、倫理観を身に着ける。		50点	10点
【知識・理解】	①人間として一番大切なものを大切にすることを理解し、経済学の基礎知識、専門知識を習得する。②①を通じて、現代社会の問題を発見し、解決することができる。		15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	①人間として一番大切なもののために生きることができるようになり、正しいプレゼンテーション能力を身に着ける。		5点	
【思考・判断・創造】	①人間として一番大切なものについて深く考え、社会事象について正しい視点から考察できる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
小テスト、ノート、アンケート、レポートは、採点結果を伝えます。 [Sレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を一部分満たしている。

○その他
・小テストとノートは、採点結果を伝えます。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	経済学史 (History of Political Economy) 古川 順一	授業コード	E014801
<b>学修内容</b>				
1. ○第1回 イン트로ダクション 講義の全体の授業計画、受講心得、評価基準等について説明します。				
予習	参考書を調べる(経済学について)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
2. ○第2回 経済学とは何か(1) 西洋経済史で考えた、人間として一番大切なことから見て、経済学はそれとどのような関係にあるかを考えます。				
予習	参考書を調べる(経済学について)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
3. ○第3回 経済学とは何か(2) 経済学の中には、どのような理論的違いが存在するのか、その理由は何か、について考えます。				
予習	参考書を調べる(経済学について)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
4. ○第4回 アダム・スミス(1) アダム・スミスによって、どのように経済学が始まったかを考察します。 今回は、スミスの生涯と研究を、彼の生きた時代背景とかかわらせながら考察します。とくに、スミスが経済学を本悪的に始めるようになるまでを見ていきます。				
予習	参考書を調べる(スミスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
5. ○第5回 アダム・スミス(2) 今回は、スミスが、本格的に経済学を始めるようになって以降のことを考察しながら、彼が初めて経済学という科学を生み出した理由を考えます。				
予習	参考書を調べる(スミスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
6. ○第6回 アダム・スミス(3) アダム・スミスによって、どのように経済学が始まったかを考察します。 今回は、スミス経済学理論の特徴について考えます。とくに労働価値説という考え方を考察します。				
予習	参考書を調べる(スミスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
7. ○第7回 アダム・スミス(4) アダム・スミスによって、どのように経済学が始まったかを考察します。 今回は、スミスの経済政策の特徴について考えます。とくに市場経済と自由主義の考え方について考察します。				
予習	参考書を調べる(スミスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
8. ○第8回 アダム・スミス(5) アダム・スミスによって、どのように経済学が始まったかを考察します。 今回は、スミスの経済学が、どのような思想によって支えられているのかを考えます。またその理論、思想の現代的意義や限界についても、考察します。				
予習	参考書を調べる(スミスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	経済学史 (History of Political Economy) 古川 順一	授業コード	E014801
<b>学修内容</b>				
9. ○第9回 リカードウとマルサス(1) スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 今回は、リカードウとマルサスの生きた時代背景と、彼らの抱えた経済的課題について考えます。リカードウの生涯と著作について考察します。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
10. ○第10回 リカードウとマルサス(2) スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 今回は、マルサスの生涯と著作について考察します。『人口論』とのかかわりについても考えます。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
11. ○第11回 リカードウとマルサス(3) スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 今回は、リカードウとマルサスの経済理論の違いについて考えます。とくに、二人の労働価値説の違いについて考察します。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
12. ○第12回 リカードウとマルサス(4) スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 今回は、リカードウとマルサスの労働価値説の違いから、どのように二人の経済理論の相違が生み出されていったかを、考えます。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
13. ○第13回 リカードウとマルサス(5)スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 リカードウとマルサスの経済理論上の違いが、どのような政策上の違いをもたらしたかを考察します。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
14. ○第14回 リカードウとマルサス(6) スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 今回は、リカードウとマルサスが、自由貿易政策をめぐる対立することになった理論上の理由について考察します。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間
15. ○第15回 リカードウとマルサス(7) スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 今回は、リカードウとマルサスの経済理論上の相違が生み出された、思想的な根拠について、考えます。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポート・アンケートに備える。			約2時間
16. ○第16回 リカードウとマルサス(8) スミスが始めた経済学を、リカードウとマルサスが、それぞれどのように継承していったかを考察します。 今回は、リカードウとマルサスの理論、思想の後世への影響について、考察します。				
予習	参考書を調べる(リカードウとマルサスについて)。			約2時間
復習	講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポートに備える。			約2時間

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	経済学史 (History of Political Economy) 古川 順一	授業コード	E014801
<b>学修内容</b>				
17. ○第17回 マーシャル(1) 限界革命以降、マーシャルがどのようにスミス以来の古典派経済学を革新し、新古典派経済学を生み出したかを考察します。 今回は、マーシャルの生涯と研究を、時代背景と関係させながら、考えます。とくに、マーシャルの思想的な遍歴に触れたいと思います。				
予習 参考書を調べる(マーシャルについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポート、期末レポートに備える。			約2時間	
18. ○第18回 マーシャル(2) 限界革命以降、マーシャルがどのようにスミス以来の古典派経済学を革新し、新古典派経済学を生み出したかを考察します。 今回は、マーシャルの経済理論の特徴について考察します。彼による経済学の制度化と彼の技術水準を重視する経済学の特徴について考えます。				
予習 参考書を調べる(マーシャルについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポート、期末レポートに備える。			約2時間	
19. ○第19回 マーシャル(3) 限界革命以降、マーシャルがどのようにスミス以来の古典派経済学を革新し、新古典派経済学を生み出したかを考察します。 マーシャルが、生産性とくに技術水準を重視している理由を考えます。この経済理論と経済成長との関係を考察します。				
予習 参考書を調べる(マーシャルについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポート、期末レポートに備える。			約2時間	
20. ○第20回 マーシャル(4) 限界革命以降、マーシャルがどのようにスミス以来の古典派経済学を革新し、新古典派経済学を生み出したかを考察します。 今回は、マーシャルの経済学が、生産性をとくに重視する、政策的、思想的理由について考察します。				
予習 参考書を調べる(マーシャルについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、中間レポート、期末レポートに備える。			約2時間	
21. ○第21回 マーシャル(5) 限界革命以降、マーシャルがどのようにスミス以来の古典派経済学を革新し、新古典派経済学を生み出したかを考察します。 今回は、マーシャルの経済学の長所と問題点から、私たちは何を学ぶべきかについて考えます。				
予習 参考書を調べる(マーシャルについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	
22. ○第22回 ケインズ(1) マーシャルの新古典派経済学をケインズがどのように独自のケインズ経済学へと作り変えていったかを考察します。 ケインズが生きた二つの世界大戦の時代について考察します。				
予習 参考書を調べる(ケインズについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	
23. ○第23回 ケインズ(2) マーシャルの新古典派経済学をケインズがどのように独自のケインズ経済学へと作り変えていったかを考察します。 今回は、時代背景の中でケインズが引き受けた世界経済の課題について考えます。				
予習 参考書を調べる(ケインズについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	
24. ○第24回 ケインズ(3) マーシャルの新古典派経済学をケインズがどのように独自のケインズ経済学へと作り変えていったかを考察します。 今回は、これまでケインズの経済理論は、一般にどう理解され、それに基づき、どのような経済政策が実行されてきたかを、考察します。IS-LM曲線を中心に説明します。				
予習 参考書を調べる(ケインズについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	

○授業計画	科目名 担当教員	経済学史 (History of Political Economy) 古川 順一	授業コード	E014801
<b>学修内容</b>				
25. ○第25回 ケインズ(4) マーシャルの新古典派経済学をケインズがどのように独自のケインズ経済学へと作り変えていったかを考察します。 今まで理解されてきたケインズは、本当のケインズといえるのか、考察してみます。現代経済学の歴史上見られた、ケインズ理解の変遷についての高札です。				
予習 参考書を調べる(ケインズについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	
26. ○第26回 ケインズ(5) マーシャルの新古典派経済学をケインズがどのように独自のケインズ経済学へと作り変えていったかを考察します。 今回は、ケインズが本当に主張したかった経済学とは何か、その政策的意図は何かについて、探っていきます。『貨幣論』以前にまで立ち返り、考察します。				
予習 参考書を調べる(ケインズについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	
27. ○第27回 ケインズ(6) マーシャルの新古典派経済学をケインズがどのように独自のケインズ経済学へと作り変えていったかを考察します。 今回は、本当のケインズを、『貨幣論』にまで遡り、考察します。現代経済学から見てもきわめて斬新なケインズ像を探ります。				
予習 参考書を調べる(ケインズについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	
28. ○第28回 ケインズ(7) マーシャルの新古典派経済学をケインズがどのように独自のケインズ経済学へと作り変えていったかを考察します。 今回は、ケインズ理論の思想的根拠は何か、現代的意義は何か、について考察します。新古典派経済学とも比較しながら、ケインズの国内政策、国際政策の意義を思想的に考察します。				
予習 参考書を調べる(ケインズについて)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、小テスト、期末レポートに備える。			約2時間	
29. ○第29回 エピローグ 人間として一番大切にすべきことを大切にすれば、どのような経済活動となるのかを考えます。				
予習 参考書を調べる(経済学について)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、期末レポートに備える。			約2時間	
30. ○第30回 まとめ 経済学は何を目指しているのか、また目指すべきなのか、今までの講義を振り返りもう一度考えます。				
予習 参考書を調べる(経済学について)。			約2時間	
復習 講義の内容をノートにまとめ、期末レポート・アンケートに備える。			約2時間	
31.				
予習 試験勉強			約2時間	
復習			約2時間	
32.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	